



## 2024年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月7日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9632 URL <https://subaru-kougyou.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長 (氏名) 松原 正司 (TEL) (03) 3528-8245  
 四半期報告書提出予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期第3四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	21,639	2.6	3,943	△0.9	3,980	△2.3	2,648	△4.4
2023年1月期第3四半期	21,083	3.7	3,978	33.8	4,075	28.8	2,769	26.5

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 2,651百万円 (△4.5%) 2023年1月期第3四半期 2,776百万円 (26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	1,028.42	—
2023年1月期第3四半期	1,076.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	37,580	32,932	87.4
2023年1月期	36,246	31,235	85.9

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 32,830百万円 2023年1月期 31,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	130.00	—	250.00	380.00
2024年1月期	—	130.00	—	—	—
2024年1月期（予想）	—	—	—	270.00	400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※期末配当金の内訳 2023年1月期 普通配当130円 特別配当120円

2024年1月期（予想）普通配当130円 特別配当140円

詳細は、本日付けで別途公表いたしました「2024年1月期（第110期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,682	△0.8	4,643	△8.8	4,682	△10.1	3,130	△11.0	1,215.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期3Q	2,662,000株	2023年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	84,676株	2023年1月期	87,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期3Q	2,575,723株	2023年1月期3Q	2,573,218株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、海外景気の下振れによる下押しリスクや中東地域をめぐる情勢、資源価格・原材料価格の高騰等により、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は216億3千9百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は39億4千3百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益は39億8千万円（前年同期比2.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億4千8百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

#### (道路関連事業)

道路業界においては、引き続き政府による防災・減災、国土強靱化対策の推進もあり、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な建設技能者の不足に加え、労務費・資機材価格が上昇する等、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループの道路関連事業は、積極的な営業活動を行うと共に、積算精度の向上や総合評価方式への対応強化を図りましたところ、道路維持管理業務及び道路土木工事においては、概ね順調に推移し、年間契約を主とする道路清掃業務においては、追加受注等もあり、前年同期を上回りました。

以上の結果、道路関連事業全体の売上高は196億6千3百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は40億7百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

#### (レジャー事業)

飲食業界においては、行動制限のない社会生活を取り戻し、客数も順調に回復しておりますが、仕入価格の高騰や人件費・光熱費の上昇等、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、当社の飲食店は、テイクアウト販売の強化に加え、商品提供スピードの改善や時間制の導入による回転率の向上に努め、物品販売は、販路拡大に努めたところ、飲食事業は順調に推移しました。なお、期中10月に『ドトールコーヒースョップ本郷三丁目店』（東京都文京区）を開店し、同月に入居ビルの閉館により『ラ・ベルデ有楽町店』（東京都千代田区）及び『そば処 竹むら』（東京都千代田区）を閉店しました。

マリナー事業は、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』における年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移したことに加え、マリン用品の販売等が増加しました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は13億4千2百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は1億5千6百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の既存賃貸物件が概ね順調に稼働したことに加え、前期に取得した物件が寄与したこともあり、売上高は6億3千2百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は4億2千万円（前年同期比5.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等がありましたが、現金及び預金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ13億3千3百万円増の375億8千万円となりました。

負債は、賞与引当金の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ3億6千2百万円減の46億4千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ16億9千6百万円増の329億3千2百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年9月7日に公表いたしました2024年1月期の連結業績予想を変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,587,563	14,515,995
受取手形、売掛金及び契約資産	7,383,343	5,836,260
商品	65,895	63,336
原材料及び貯蔵品	211,497	232,341
仕掛品	211,392	256,380
その他	360,111	466,896
貸倒引当金	△18,340	△8,689
流動資産合計	21,801,462	21,362,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,173,484	2,337,456
機械装置及び運搬具（純額）	1,246,324	1,388,693
土地	8,757,470	9,620,291
建設仮勘定	—	256,600
その他（純額）	113,756	181,922
有形固定資産合計	12,291,035	13,784,963
無形固定資産		
契約関連無形資産	—	113,019
のれん	332,344	276,953
その他	36,464	37,877
無形固定資産合計	368,808	427,850
投資その他の資産		
投資有価証券	272,460	272,460
繰延税金資産	282,127	319,431
差入保証金	519,132	633,557
保険積立金	608,278	675,487
その他	107,370	108,403
貸倒引当金	△3,928	△3,928
投資その他の資産合計	1,785,442	2,005,412
固定資産合計	14,445,286	16,218,227
資産合計	36,246,749	37,580,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,927	1,494,455
未払法人税等	1,017,063	498,091
賞与引当金	145,722	374,952
役員賞与引当金	18,350	—
資産除去債務	52,299	2,695
その他	1,082,485	1,183,608
流動負債合計	4,070,847	3,553,802
固定負債		
繰延税金負債	1,520	321
退職給付に係る負債	310,317	350,757
資産除去債務	194,193	290,272
その他	433,992	453,398
固定負債合計	940,023	1,094,751
負債合計	5,010,871	4,648,553
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,301,614	1,318,629
利益剰余金	28,842,777	30,512,958
自己株式	△338,504	△331,957
株主資本合計	31,136,887	32,830,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	11
その他の包括利益累計額合計	26	11
非支配株主持分	98,964	101,554
純資産合計	31,235,878	32,932,196
負債純資産合計	36,246,749	37,580,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上高	21,083,117	21,639,039
売上原価	15,755,476	16,216,289
売上総利益	5,327,641	5,422,749
販売費及び一般管理費	1,349,518	1,479,048
営業利益	3,978,122	3,943,700
営業外収益		
受取利息	398	335
受取配当金	7,162	4,437
固定資産売却益	10,387	4,018
受取保険金	1,012	970
助成金収入	22,019	1,078
受取補償金	39,444	11,091
その他	17,358	15,136
営業外収益合計	97,783	37,067
営業外費用		
その他	310	377
営業外費用合計	310	377
経常利益	4,075,595	3,980,390
特別利益		
保険解約返戻金	4,851	2,344
特別利益合計	4,851	2,344
税金等調整前四半期純利益	4,080,447	3,982,735
法人税、住民税及び事業税	1,361,081	1,369,630
法人税等調整額	△56,689	△38,495
法人税等合計	1,304,392	1,331,135
四半期純利益	2,776,054	2,651,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,484	2,669
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,769,570	2,648,930

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	2,776,054	2,651,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△15
その他の包括利益合計	△18	△15
四半期包括利益	2,776,036	2,651,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,769,552	2,648,915
非支配株主に係る四半期包括利益	6,484	2,669

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年2月1日至2022年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,216,330	1,268,726	598,060	21,083,117	—	21,083,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	182,199	57,672	239,871	△239,871	—
計	19,216,330	1,450,925	655,733	21,322,989	△239,871	21,083,117
セグメント利益	4,008,053	125,125	399,680	4,532,860	△554,737	3,978,122

(注) 1 セグメント利益の調整額△554,737千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年2月1日至2023年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,663,872	1,342,610	632,556	21,639,039	—	21,639,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	184,557	57,097	241,655	△241,655	—
計	19,663,872	1,527,167	689,653	21,880,694	△241,655	21,639,039
セグメント利益	4,007,360	156,625	420,638	4,584,624	△640,924	3,943,700

(注) 1 セグメント利益の調整額△640,924千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。